

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Shell Engine Deposit Cleaner X5000

製品コード : 007A1638

供給者情報

供給者の会社名称、住所 : 株式会社レッドアンドイエロー
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2
富国生命ビル 13F

電話番号 : 03-6812-7783

FAX 番号 : 03-6812-7784

緊急連絡電話番号 : [重要]

弊社製品に関するお問い合わせは以下にお願いします

TEL:03-6812-7783 / FAX:03-6812-7784

受付時間 月～金曜日 9:00-17:30

SDS に関するお問い合わせ先 : 同上

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 4 サイクルガソリンエンジン用燃料添加剤

使用の制限 : 上記以外の用途

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

引火性液体 : 区分 4

急性毒性（経口） : 区分 4

誤えん有害性 : 区分 1

皮膚刺激性 : 区分 2

皮膚感作性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷 : 区分 1

水生環境有害性 短期
（急性） : 区分 3

水生環境有害性 長期
（慢性） : 区分 3

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 物理化学的危険性:

H227 可燃性液体

健康有害性:

H302 飲み込むと有害

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H315 皮膚刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H318 重篤な眼の損傷

環境有害性:

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

: 安全対策:

P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置:

P302 + P352 皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと

P305 + P351 + P338 眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗うこと

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください

P310 迅速に毒物センター、または医師に連絡してください

保管:

P405 施錠して保管すること

廃棄:

P501 内容物/容器を廃棄する際は、現行規定に従って、認定された回収業者または請負業者に委託してください

追加情報:

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること - 禁煙
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- P264 取扱い後は手をよく洗うこと
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- P273 環境への放出を避けること
- P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと
無理に吐かせないこと
- P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに毒物センター、または医師に連絡してください
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- P370 + P378 火災の場合：消火するために適切な手段を使用すること
- P403 換気の良い場所で保管すること

ラベルに表示されなければならない有害成分：

水素処理された軽質留分（石油）を含有

ポリエーテルアミンを含有

アルキルアミノエステルを含有

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

適切に洗浄（手洗いなど）せずに長期または繰り返し皮膚と接触させると、皮膚の毛穴を塞ぎ、油性ざ瘡及び毛嚢炎などの障害をもたらすことがあります。

使用済みオイルには有害な不純物が含まれている可能性があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

化学名又は一般名 : 灯油及び添加剤

成分

化学名又は一般名	CAS 番号	分類	含有量 (% w/w)
Distillates (petroleum), hydrotreated light	64742-47-8	Asp. Tox.1; H304	80 - 90
Polyether amine	トレードシー クレット	Acute Tox.4; H302 Skin Irrit.2; H315 Eye Dam.1; H318	10 - 15
Alkyl amino ester	トレードシー クレット	Skin Sens.1A; H317 Eye Dam.1; H318 Aquatic Acute2; H401 Aquatic Chronic2; H411	3 - 5
Alkylamine	トレードシー クレット	Aquatic Acute3; H402 Aquatic Chronic3; H412	1 - 3

略語の説明はセクション 16 を参照ください

4. 応急措置

- 吸入した場合

: 通常の使用条件下では治療は必要ありません
症状が続く場合は、医師に相談してください
- 皮膚に付着した場合

: 汚染された衣服を脱ぐ
直ちに大量の流水で 15 分以上皮膚を洗い流し、その後、可能
なら石鹼で洗う
赤み、はれ、痛み及び/または水ぶくれが発生した場合は、最
寄りの医療施設に搬送して治療を受けさせること
刺激が持続する場合は、医師の診察をうけてください
- 眼に入った場合

: 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、そ
の後も洗浄を続けてください
追加治療の場合、最寄りの医療機関へ搬送してください

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

- 飲み込んだ場合 : お住まいの地域/最寄の医療施設、毒物センター等の緊急連絡先に電話をしてください
- 飲み込んだ場合は無理に吐かせず、最寄の医療施設に搬送して治療を受けさせること
- 自然に嘔吐する場合は、誤えんを防ぐため、頭部が腰より下に来るようにしてください
- 口をすすぐこと
- 以下に示す遅発性の兆候及び症状のいずれかが、事故発生から6時間以内に発現した場合は、最寄りの医療施設へ搬送してください :
- 38.3° C (101° F) を超える発熱、息切れ、胸部うっ血、継続的なせき、または喘鳴（ぜいぜい息をすること）
- 急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状 : 眼に腐食性があります
- 接触すると化学的熱傷、痛み、角膜混濁及び炎症などの重度の眼への損傷を引き起こす可能性があり、永久的な失明をもたらす恐れがあります
- 飲み込むと吐き気、嘔吐、または下痢が生じる恐れがあります
- 皮膚刺激の兆候及び症状には、灼熱感、発赤、はれ及び/または水泡が挙げられます
- 皮膚感作(アレルギー性の皮膚反応)の兆候及び症状は、かゆみ及び/または発疹が挙げられます
- 油性ざ瘡/毛囊炎の徴候及び症状には、曝露した皮膚上に形成される黒色の膿疱及び斑点が含まれます
- 物質が肺に入った場合の兆候及び症状は、咳、窒息、喘鳴音、呼吸困難、胸部うっ血、息切れ、及び/または発熱が挙げられます
- 呼吸器症状の兆候は、曝露後、数時間遅れて現れることがあります
- 脱脂している皮膚炎の兆候及び症状には、灼熱感及び/または乾燥、ひび割れの外観が含まれます

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

- 応急措置をする者の保護 : 救急処置を行う場合は、事故や怪我、周囲の環境に応じて適切な個人用保護具を必ず着用してください
- 医師に対する特別注意事項 : 直ちに医師の診察、特別な治療を受けてください
対症療法を行ってください
医師または毒物管理センターに連絡し、指示を求めてください
皮膚感作を生じ、因果関係が確認された場合、更に被毒しない様にしてください
化学性肺炎を生じる可能性があります

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、水または噴霧
小規模火災の場合のみ、粉末消火剤、二酸化炭素、砂または土の使用が可能です
- 使ってはならない消火剤 : ジェット水流を使用しないでください
- 特有の危険有害性 : 有害な燃焼生成物は以下を含有し得ます:
浮遊性の固形/液体の粒子状物質とガスの複合混合物（煙）
不完全燃焼が起こると、一酸化炭素が発生し得ます
未確認の有機及び無機化合物
- 特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いてください
- 消火を行う者の保護 : 化学的耐性のある手袋などの適切な保護具を着用してください
製品の流出による広範囲に及ぶ接触が予想される場合には化学的耐性のある衣服も着用してください
密閉空間で火気に接近する際は、自給式呼吸器を着用してください
関連基準に基づいて承認された消防服を選択してください
(欧州の場合: EN469)

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 : 皮膚及び眼への接触を避けてください
具及び緊急時措置

環境に対する注意事項 : 漏出が著しく、回収できない場合は、地方自治体に通報してください

封じ込め及び浄化の方法及び : こぼすと滑り易くなりますので事故を避けるため、直ちに清掃
機材 してください
砂、土や他の封じ込め材料で障壁を作り、拡散を防止してください
液体は、直接回収するか、吸収材で回収してください
粘土や砂などの吸収性物質または、その他の適切な材料で残留物を吸い取り、適正に処理してください

追加情報 : 保護具の選択に関するガイダンスは、この製品安全データシート（SDS）の第 8 項を参照ください
漏出物質の廃棄に関するガイダンスはこの製品安全データシート（SDS）の第 13 項を参照ください

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 蒸気、霧、またはミストを吸入する危険性がある場合、局所的に換気を行ってください
この物質の安全な取り扱い、保管及び廃棄を適切に行うための管理方法を決定する際、現地の環境のリスク評価へ入力する際に、このデータシートの情報を参考情報として使用してください

安全取扱注意事項 : 長時間または繰り返し皮膚に接触させないでください
蒸気及び/またはミストの吸入を避けてください
ドラム缶など重量のある容器に入った製品を取り扱う際は、安

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

全靴を着用し、適切な取り扱い器具を使用してください
火災を防止するために、汚染されたウエスや清掃用具を適切に
廃棄してください

顔面の保護具：この製品の飛沫よけとして、密閉型ゴーグル及び保護面を使用
してください
現場のリスク評価で不要と判断される場合は、飛沫よけのゴー
グルではなく保護眼鏡の使用で十分な防御効果が得られる場合
もあります

接触回避に関する記述：強酸類と接触しないように注意してください

保管
その他のデータ：容器を密栓し、涼しく換気の良い場所に保管してください
適切にラベルを貼付した密閉可能な容器を使用してください

安全な容器包装材料：適した材質：容器または容器のライニングには、軟鋼または高
密度ポリエチレンを使用してください
適さない材質：PVC

容器に関する注意：ポリエチレン容器は変形の恐れがあるため、高温に曝さないで
ください

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (ばく露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
Distillates (petroleum), hydrotreated light	64742-47-8	OEL-M (ミスト)	3 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
参考情報：発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断				

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

	できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
Distillates (petroleum), hydrotreated light	64742-47-8	TWA	200 mg/m ³	ACGIH
Distillates (petroleum), hydrotreated light		TWA (ミスト)	5 mg/m ³	NIOSH REL
Distillates (petroleum), hydrotreated light		ST (ミスト)	10 mg/m ³	NIOSH REL
Distillates (petroleum), hydrotreated light		TWA (ミスト)	5 mg/m ³	OSHA Z-1

生物学的職業暴露限度

この物質に関する生物学的限界値 (BLV) は設定されていません

モニタリング方法

職業暴露限度の遵守と曝露制御の妥当性を評価するためには、作業者が呼吸する場所や一般的な職場の物質濃度をモニタリングする必要があると考えられます。一部の物質については、生物学的なモニタリングが適している場合もあります。

検証済みの暴露測定方法は有資格者が実施し、またサンプルの分析は認定を受けた研究所で行う必要があります。

推奨するエアモニタリング法の情報源の例を、下記に示しています。あるいは製造元に連絡する、さらには国内規定の方法を利用することができます。

National Institute of Occupational Safety and Health (NIOSH), USA: Manual of Analytical Methods <http://www.cdc.gov/niosh/>

Occupational Safety and Health Administration (OSHA), USA: Sampling and Analytical Methods <http://www.osha.gov/>

Health and Safety Executive (HSE), UK: Methods for the Determination of Hazardous Substances <http://www.hse.gov.uk/>

Institut für Arbeitsschutz Deutschen Gesetzlichen Unfallversicherung (IFA), Germany. <http://www.dguv.de/inhalt/index.jsp>

L'Institut National de Recherche et de Sécurité, (INRS), France

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

<http://www.inrs.fr/accueil>

労働者の健康障害を防止するため化学物質の濃度基準値とその適用方法などを定めました

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32871.html

設備対策

： 必要な保護レベルと管理のタイプは、潜在的な曝露条件によって異なります

現地の環境リスク評価に基づいて管理方法を選択してください
適切な方法には、以下のものがあります：

適切な換気を行って空気中濃度を抑えてください

この物質を加熱する、噴霧する、またはミストが形成されたりする場合、空気中濃度を上昇させる潜在性が高くなります

緊急時用に洗眼器及びシャワーの用意

一般情報：

安全な取り扱いや、制御装置のメンテナンスの手順を明確に定めてください

この製品を用いた通常業務に伴う危険性とその管理手順について、作業員に対する教育及びトレーニングを実施してください
暴露管理に用いる装置（個人用保護具や局所排気装置）が適切なものであるか、またこれらに対し適切なテストやメンテナンスが行われているか確認してください

システムの試運転や保守の前には、システムからドレンを排出してください

ドレンはリサイクルあるいは廃棄まで密封できる保管容器に保管してください

この物質の取り扱い後や飲食・喫煙の前に手を洗うなど、常に身の回りの正しい衛生措置を実行するようにしてください

汚染物質を除去するため、作業衣や保護具は定期的に洗浄してください

汚染され、かつ洗浄が不可能な衣類や履物は廃棄してください
適切な清掃管理を行ってください

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

保護具

保護対策

個人用保護具（Personal Protective Equipment, PPE）は、推奨される国内基準を満たしている必要があります。PPE の供給業者に確認してください。

呼吸用保護具

- ： 通常使用条件下では呼吸用保護具は不要です
- 優良労働衛生規範に則り、物質を吸い込まないように予防措置をとってください
- 空気中濃度が作業者の健康を保護するのに十分なレベルに維持されない場合、特定の使用条件に適し、関連法規に適合する呼吸保護具を選定してください
- 呼吸保護具の供給業者に確認してください
- 空気フィルター付き呼吸器が適している場合は、マスクとフィルターの適切な組み合わせを選択してください
- 有機ガス、蒸気及び粒子[タイプ A/タイプ P 沸点 >65°C (149° F)]の組み合わせに適したフィルターを選択してください

手の保護具

備考

- ： 製品に手を触れる可能性がある場合、関連する基準（例：欧州：EN374、米国：F739）で承認された、以下の素材で作られた手袋を使用することにより、適切な化学防護ができる可能性があります：
- PVC、ネオプレンまたはニトリルゴム製手袋
- 手袋の適合性及び耐久性は、接触の頻度や期間、手袋素材の耐薬品性、手袋の厚さ、使用者の器用さなどの利用状況により異なります
- 常に手袋のサプライヤーに助言を求めてください
- 汚染された手袋は交換してください
- 個人的衛生を維持することは、手の効果的なケアに重要な要素です
- 手袋は清潔な手に着用してください
- 手袋使用後は手を洗い、十分に乾燥させてください
- 無香料の保湿剤の塗布を推奨します

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

連続的な接触には、破過時間が 240 分を超える手袋を推奨しますが、破過時間が 480 分以上の手袋がある場合は、そちらを優先して着用してください

短時間/飛沫の保護に使用する場合も、上記の手袋を着用してください

ただし、この保護レベルを備えた手袋は入手が困難な可能性があるため、その場合、適切な管理と交換が行われている限り、破過時間の短い手袋で代替することもできます

手袋の耐薬品性は、素材の組成によるため、手袋の厚みから耐性の有無を的確に判断することはできません

手袋の厚みは、メーカーやモデルによって異なりますが、通常 0.35 mm 以上 のものを着用してください

眼、顔面の保護 : この製品の飛沫よけとして、密閉型ゴーグル及び保護面を使用してください

現場のリスク評価で不要と判断される場合は、飛沫よけのゴーグルではなく保護眼鏡の使用で十分な防御効果が得られる場合もあります

皮膚及び身体の保護具 : 耐薬品性グローブ、長手袋、長靴、エプロン（飛沫が生じる危険がある場合）

温熱性の危険性 : 非該当

一般的アドバイス : 関連する環境保護法の要件を満たすために適切な措置を講じてください

第 6 項に記載の内容に従い、環境汚染を回避してください

必要に応じて、非溶解性物質が排水に放出されることを防いでください

廃水は、地表水に放出する前に、公共処理場または産業廃水処理場で処理する必要があります

蒸発物質を含む排気的环境への放出に関しては、揮発性物質の排出規制に関する国内指針を遵守しなければなりません

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 琥珀色
臭い	: 石油系溶剤臭
臭いの閾値	: データなし
pH	: 非該当
流動点	: -58 ° C / -72 ° F 方法: ASTM D97
融点 / 凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 79.00 ° C / 174.20 ° F 方法: ASTM D92 (COC)
蒸発速度	: データなし
可燃性	
可燃性（固体、気体）	: 非該当
可燃性（液体）	: 可燃性液体
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	
爆発範囲の上限	: 代表値 10 % (V)
爆発範囲の下限	: 代表値 1 % (V)
蒸気圧	: < 0.5 Pa (20 ° C / 68 ° F) 推定値
相対ガス密度	: > 1 推定値

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

密度及び/または相対密度

密度 : 815 kg/m³ (20 ° C / 68 ° F)
方法: ASTM D4052

溶解度

水溶性 : 無視できるほど僅か
溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール / 水分配係数 : データなし
(log 値)

自然発火点 : > 320 ° C / 608 ° F

分解温度 : データなし

粘度

粘性率 (粘度) : データなし
動粘性率 (動粘度) : 3 mm²/s (40 ° C / 104 ° F)
方法: ASTM D445

粒子特性

粒子サイズ : データなし

爆発特性 : 国際規制: 区分外

酸化特性 : データなし

導電度 : この物質は静電気蓄積性物質ではないと考えられます

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品は以下の項の記載内容以外の反応危険性は引き起こしません

化学的安定性 : 安定している

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

危険有害反応可能性	: 強酸化剤と反応する
避けるべき条件	: 極端な温度と直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない

11. 有害性情報

評価基準	: 記載された情報は、同種の製品の成分及び毒物検査データを基 づいています 特に記述がない限り、データは本製品に関する包括的なもので あり、個々の成分に関するものではありません
------	---

可能性のある暴露経路の情報	: 皮膚及び眼への接触が主な暴露経路ですが、誤飲により暴露す る可能性もあります
---------------	---

急性毒性

製品として:

急性毒性（経口）	: LD50 ラット: > 300 mg/kg, <= 2,000 mg/kg 備考: 飲み込むと有害 備考: 肺へ吸引すると、致死的な化学性肺炎を引き起こすこと があります
----------	--

急性毒性（吸入）	: 入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しま せん
----------	------------------------------------

急性毒性（経皮）	: LD50 ウサギ: > 5,000 mg/kg 備考: 低毒性 入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しま せん
----------	--

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

皮膚腐食性 / 刺激性

製品として：
備考：皮膚刺激性があります

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

製品として：
備考：重篤な眼の損傷を生じさせます

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品として：
備考：皮膚と接触すると感作を生じさせる恐れがあります

生殖細胞変異原性

製品として：
備考：変異原性はありません。入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しません

発がん性

製品として：
備考：発がん性物質ではありません。入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しません

物質	GHS/CLP 発がん性 分類
Distillates (petroleum), hydrotreated light	発がん性の分類なし
Polyether amine	発がん性の分類なし
Alkyl amino ester	発がん性の分類なし
Alkylamine	発がん性の分類なし

生殖毒性

製品として：
備考：発生毒物ではありません。生殖機能を損ないません。入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しません

特定標的臓器毒性 単回ばく露

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

製品として：
備考：入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しません

特定標的臓器毒性 反復ばく露

製品として：
備考：入手可能なデータに基づく健康有害性分類基準に該当しません

誤えん有害性

製品として：
備考：飲み込んだり嘔吐した際に、肺への吸引により、致死的な化学性肺炎を引き起こすことがあります

詳細情報

製品として：
備考：使用済みオイルは、使用中に蓄積した有害な不純物を含んでいる可能性があります。この様な不純物の濃度は、使用状況によって異なり、廃棄の際に健康や環境に危険を及ぼす可能性があります。使用済みオイルはすべて、取り扱いに注意し、可能なかぎり皮膚と接触しないようにしてください。

備考：呼吸器系に軽度の刺激性があります。

12. 環境影響情報

評価基準：この製品の環境毒物学的データは特別得られていません
記載された情報は、類似製品や成分及び環境毒物に関する知識に基づいています
特に記述がない限り、データは本製品に関する包括的なものであり、個々の成分に関するものではありません

生態毒性

製品として：
魚毒性（急性毒性）：備考：LL/EL/IL50: 10 ～ 100 mg/l

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

有害

甲殻類への毒性（急性毒性）：備考：LL/EL/IL50: 10 ～ 100 mg/l

有害

藻/水生植物への毒性（急性毒性）：備考：LL/EL/IL50: 10 ～ 100 mg/l

有害

魚毒性（慢性毒性）：備考：データなし

甲殻類への毒性（慢性毒性）：備考：データなし

微生物への毒性（急性毒性）：備考：データなし

残留性・分解性

製品として：

生分解性：備考：データなし

生態蓄積性

製品として：

生態蓄積性：備考：潜在的蓄積性を有する成分を含有します

n-オクタノール / 水分配係数（log 値）備考：データなし

土壤中の移動性

製品として：

移動性：備考：ほとんどの環境条件下で液体です
土壤中に浸透すると、土壤粒子に吸着して移動しなくなります

他の有害影響

製品として：

生態系に関する追加情報：オゾン破壊係数、光化学オゾン生成係数、地球温暖化係数はあ

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

りません

本製品は不揮発性成分の混合物であり、通常の使用条件下では
空气中に大量に放出されることはありません

低溶解性の混合物であるため、水生生物への汚損を引き起こし
ます

オゾン層への有害性 : 非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

化学品（残余廃棄物）

: 可能であれば再生利用または再使用してください

廃棄物排出者には、適用される規則に従って適切に廃棄物を分
類し、処分する方法を用いているかどうかを判断するため、生
成された物質の毒性と物質特性を判断する責任があります
廃棄物で土壌や地下水を汚染したり、環境中に排出してはなり
ません

製品の廃棄物、流出物、または使用済み製品は、産業廃棄物で
す

漏出やタンク清掃から生じる廃棄物は、関連法規を遵守し、資
格を有する専門の回収業者または請負業者に依頼し、適切に処
分してください

回収業者または請負業者が適格性を有していることを事前に確
認してください

土壌と地下水を汚染しますので、タンク内のドレン水を地表に
放出して廃棄しないでください

MARPOL – 船舶からの汚染を規制するための技術的側面を規定
する船舶汚染防止のための国際条約（MARPOL 73/78）を参照し
てください

汚染容器及び包装

: 現行規定に従って、認定された回収業者または請負業者に廃棄
を委託してください

回収業者または請負業者の資格を事前に確認する必要があります

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

す
廃棄処分は、地域、国、地方の関連する法律及び規則に従って
ください

地域の法令
備考： 廃棄処分は、地域、国、地方の関連する法律及び規則に従って
ください

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
国の特定の法規制は、第 15 項を参照してください

国際規制
ADR
危険物として規制されていない
IATA-DGR
危険物として規制されていない
IMDG-Code
危険物として規制されていない

IMO の規則に従った海上バルク輸送
海上バルク輸送には MARPOL Annex 1 が適用されます

特別の安全対策
備考： 特別な注意事項：使用者が知っておくべき特別な注意事項や、
輸送に関して法令順守が必要な事項については、第 7 項を参照
してください

15. 適用法令

関連法規
消防法
第 4 類, 第 3 石油類, (2,000 リットル), 危険等級 III

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しません

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量（％）
ミネラルスピリット	551	88

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む）	551

特定化学物質障害予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第 3 種有機溶剤

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

船舶安全法

非該当

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

航空法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

油分排出規則（法第 2 条 5 項、施行令第 3 条の 4）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分は、以下のインベントリに記載されています

TASCA	: 全成分が記載されています
ENCS	: 全成分が記載されています

16. その他の情報

危険有害性情報の全文

H302	飲み込むと有害
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318	重篤な眼の損傷
H401	水生生物に毒性
H402	水生生物に有害
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性
H413	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

その他の略語の全文

Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性 短期（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性 長期（慢性）
Asp. Tox.	誤えん有害性
Eye Dam.	眼に対する重篤な損傷
Skin Irrit.	皮膚刺激性
Skin Sens.	皮膚感作性

略語及び頭字語

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024. 12. 10

発行日 2025. 2. 7

国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH 化学物質の登録、評価、認可及び登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

詳細情報

安全な取扱いのため : 本情報は安全確保のため参考情報として取扱事業者提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

その他の情報 : 左欄外の垂直バー (|) は、前バージョンの修正を示します

引用文献 : 引用データは、Shell Health Services の毒性データ、材料サプライヤーのデータ、CONCAWE、EU IUCLID データベース、EC 1272 規制など、複数の情報源から得られたものです

Shell Engine Deposit Cleaner X5000

版番号 1.0

改訂日 2024.12.10

発行日 2025.2.7

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。